

前回は約40年ぶりの高水準、米追加利上げ期待を支える物価動向は～米消費者物価指数

2022年2月7日(月)

米国の利上げ期待が強まる中、その要因となっている物価動向への注目が集まっています。米国のインフレターゲットはPCE(個人消費支出)デフレータの前年比ですが、発表がやや遅いため、同系統の指標でPCEよりも2週間ほど発表の早い消費者物価指数に注目が集まる傾向があります。10日に最新1月分の消費者物価指数が発表されます。

前回12月分の消費者物価指数は前年比+7.0%と予想通りとはいえ7%の大台に乗せてきました。1982年6月以来、39年半ぶりという高水準です。変動の大きい食品とエネルギーを除いたコアは+5.5%。こちらは市場予想の+5.4%を超え、1991年以来の高水準となっています。前月比はそれぞれ+0.5%、+0.6%となっています。

上昇の要因となったのが、エネルギー価格の上昇と中古車を中心とした自動車価格の上昇です。12月のガソリン価格は11月と比べて低下(前月比-0.5%)したものの、前年比で見ると+49.6%となっており、全体を大きく押し上げました。需給バランスのひっ迫感から原油価格の上昇が続いており、ガソリン価格などにもその影響が大きく出ています。中古車及びトラック価格は前年比+37.3%とこちらも相当高い伸びに。新車価格も+11.8%となっており、自動車の価格上昇が目立ちます。サプライチェーン問題での半導体不足などから車の供給が追いついておらず、その影響が新車価格および中古車価格に出ているとみられます。

車社会である米国でのガソリン価格と自動車価格の大幅上昇は、前年比+6.3%と上昇傾向が続く食品価格と合わせ、市民生活を大きく圧迫しています。中央銀行としてもこうした状況への対処が求められるところで、積極的な利上げに向けた動きにつながっています。

その他項目を見ると、CPIの約1/3を占める重要項目である住居関連費が+4.1%と、全体よりは低いものの力強い伸びに。衣料費が5.8%と全般に強めの推移が見られます。

1月の消費者物価指数は前年比+7.3%、コア前年比+5.9%ともう一段の伸びが見込まれています。全体に高いとはいえ11月よりは下げたガソリン価格は、1月に入って12月よりも小幅上昇(EIA調査による全米全種平均で1ガロン当たり3.406ドルから3.413ドルに)。エネルギー価格の上昇が全体を押し上げる流れは継続しているとみられます。

半導体不足で1月の日本の自動車メーカーによる米国での販売台数が大手4社すべてで落ち込み、全体で前年同月比-10.0%となるなど、米国での自動車生産は依然厳しい環境にあります。前回同様中古車・新車価格は、ともに上昇しているの見込まれ、食品・エネルギーを除くコアでも、自動車価格の上昇が押し上げえる形で物価上昇が続いているとみられます。

3月の米FOMCでの利上げ実施はほぼ確定的。FOMCメンバーによる発言から次回会合での0.5%の利上げは見送られるという見通しが広がっていますが、市場予想前後の物価上昇が見られると、今後の追加利上げが積極的になるという期待につながります。

先月初めぐらいまで年内3回という見通しが主流であった米国の利上げは、その後年内4回見通しが強まり、さらにここにきて5回以上の利上げを見込む動きが中心シナリオとなっています。通貨先物市場動向からみた利上げ見通しを示すCME FedWatchではどこかのタイミングで連続利上げが必要となる年内5回の利上げがもっとも多い見通しに。5回以上という見方では68.7%と2/3以上の割合で見込まれています。なお、約10%が3月以降すべてのFOMCでの利上げを見込むという状況になっています。

3月の利上げは100%織り込まれており、5月の連続利上げは85%が、6月までの3連続利上げは78%が見込むなど、積極的な利上げへの期待が強まっています。

物価上昇の加速がこうした見通しを支え、さらに見通しが強まってくる可能性があるだけに、今回の消費者物価指数は相当な注目を集めています。

ここに掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品などの投資の勧誘を目的としたものではありません。

最終的な投資判断は、お客様ご自身の判断と責任によってなされ、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても「株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド」では責任を一切負いかねます。「株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド」は、信頼できる情報をもとに情報を作成しておりますが、正確性や完全性について責任を負いません。ここに掲載されている情報は、作成時点のものであり、市場環境等の変化などによって予告なく変更または廃止されることがあります。ここに掲載されている情報の著作権は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドに帰属し、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドの許可無しに転用、複製、複写はできません。株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド